

2020 年度冬期におけるスポット市場価格の高騰について（とりまとめ）[骨子案]

I. 市場支配力のある事業者の入札行動等において問題となる行為がなかったかどうか

1. スポット市場の動き

2. 調査対象

- 1) 調査対象事業者
- 2) 調査対象期間

3. 調査方法

- 1) 監視・分析に当たり前提としたデータ
- 2) 検証項目及び審議会での検討状況

4. 各検証項目の監視・分析結果

- 1) 検証①：余剰電力の全量市場供出について
- 2) 検証②：自社需要の見積りの妥当性について
- 3) 検証③：燃料制約の運用の妥当性について
- 4) 検証④：買入札価格・量の妥当性について
- 5) 検証⑤：グロス・ビディングの実施方法について
- 6) 検証⑥：発電情報公開システム（HJKS）への情報開示について
- 7) 検証①～⑥の総括

II. 2020 年度冬期のスポット市場価格高騰が発生した期間において起きた事象と電力の適正な取引の確保を図る観点での評価

1. 価格が高騰した要因

- 1) 価格高騰のメカニズム
- 2) 買入札価格が上昇した要因

2. 売り切れが継続した理由

3. 売り切れが継続した期間における系統運用の状況

- 1) インバランスの発生状況
- 2) 調整力の稼働状況
- 3) 系統運用の全体像

4. 電力の適正な取引の確保を図る観点の評価

- 1) 売り切れが継続したことについて
- 2) この期間のスポット価格の水準について
- 3) 2022年度に導入される新たなインバランス料金制度の効果について
- 4) 現状の市場関連制度についての評価と追加的対策の在り方について

5. 一般送配電事業者のインバランス収支とその評価

Ⅲ. 今後検討すべき事項

1. 2020年度冬期の事象から得られた示唆

2. 市場支配力を有する事業者の相場操縦等を確実に防止し透明性を高める仕組み

- 1) 旧一般電気事業者の内外無差別な卸取引の実効性の確保

※次回以降、旧一般電気事業者の内外無差別な卸売の実効性を高め、社内・グループ内取引の透明性を確保するためのあらゆる課題について、総合的に検討していく。

- 2) スポット市場への売り入札の在り方

- 3) 価格高騰時における電力・ガス取引監視等委員会の監視及び情報提供の在り方

3. 情報開示の充実

- 1) 発電関連情報の公開

- 2) 日本卸電力取引所（JEPX）の需給曲線の公開

- 3) 一般送配電事業者による需給関連情報（予備率等）の公表の在り方

4. 調整力の調達・運用の改善

- 1) kWh不足に対応した調整力の在り方

- 2) 緊急時に確保した自家発の稼働要請に対する運用・精算のルール化

- 3) 揚水発電のポンプアップの実施主

5. インバランス料金制度の改善

6. 先物・先渡市場の活性化

7. 小売事業者における需要家への対応の在り方等

Ⅳ. まとめ・総括

<巻末参考資料>（各社提出の諸元データ）